

時	番組内容
6	まちの話題 ホットニュース
7	宇陀市政なう・特別番組 お知らせ(静止画)
8	お知らせ(音声付き静止画) ストレッチ/タオル体操/お天気カメラ
9	まちの話題 ホットニュース
10	宇陀市政なう・特別番組 お知らせ(静止画)
11	お知らせ(音声付き静止画) うきうきダンス/お天気カメラ
0	まちの話題 ホットニュース
1	宇陀市政なう・特別番組 お知らせ(静止画)
2	お知らせ(音声付き静止画) すきまエクササイズ
3	お知らせ(静止画)
4	いきいき歯ッピー体操/お天気カメラ
5	お知らせ(静止画) お知らせ(音声付き静止画)
6	まちの話題 ホットニュース
7	宇陀市政なう・特別番組 お知らせ(静止画)
8	ピカピカはみがきのうた/うきうきダンス ウェルネスうだ体操【すきまエクササイズ・エアロ】
9	まちの話題 ホットニュース
10	宇陀市政なう・特別番組 お知らせ(静止画)
11	まちの話題 ホットニュース
0	宇陀市政なう・特別番組 お知らせ(静止画)

番組内容	1日~10日	11日~20日	21日~末日
ホットニュース	○宇陀市内の風景(大宇陀)	○宇陀市内の風景(菟田野)	○宇陀市内の風景(榛原)
宇陀市政なう	市の取り組みや行政情報		
特別番組	野菜たっぷりクッキング(鯖缶のドライカレー)	○図書館今月のイチオン ○万葉集と宇陀第1回(再放送)	○知る・見る・なるほど Enjoy 宇陀
まちの話題	○神武天皇 縁の地巡り(後編) ○ギャラリー絹衣ひな祭展 & 和布と帯地の袋物展	○宇陀市内の桜 ○春の花	○宇陀市内の茅葺屋根の家
はみがきのうた	菟田野こども園	榛原北保育園	榛原幼稚園



綺麗に咲いた桜
来年はお花見したいな(^^)!

皆さんこんにちは！
 今年も桜が美しく咲いていましたね。あいにく今年はお花見ができなかったけど、皆さんの家の窓からや、仕事への通勤途中など、日常生活の中で少しでも桜を楽しむことができたでしょうか。私が勤務している学校の桜はとてもきれいでした。来年は、友達や家族とお花見ができることを楽しみにしています。
 今、仕事以外に外出を自粛しているので一人の時間がかなり増えてきました。皆さんもそうでしょうか。私はこの時間を使ってパンやファラフェル(中東のひよこ豆のコロッケ)など、今まで作ったことない料理に挑戦したり、ずっと読みたかった本を読んだり、アクセサリーや洋服を作ったりしています。
 家から出かけられなくて、友達や家族に会えないのは寂しいけど、普段できなかった好きなことをすれば少しだけ楽になります。



令和2年4月1日現在
 ※()内は前月比

総数	29,571人 (-80)
男	14,161人 (-17)
女	15,410人 (-63)
世帯数	12,872世帯 (-19)



ウッピー編集員が、時どきの想いを語ります

新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で、様々なイベントの延期や中止が相次いでいます。▼本来なら、4月13日に東京オリンピックピック聖火リレーが宇陀市を駆け巡る予定でした。▼そこで、今回の「キラリうだ」では、オリンピック聖火リレーを通して、今回と56年前の聖火ランナーに思いを聞かせていただきました。
 ▼来年は無事に聖火リレーができるよう、新型コロナウイルスが早く終息し、日常に戻ることを願います。▼今後も様々な情報について、広報紙やホームページなどいろいろな媒体で情報発信していきますので、ご協力をお願いいたします。

宇陀を駆けた人々 25

製薬会社の創業者 篇2

くすりの町 道修町

藤澤友吉が設立した「藤澤薬品工業(株)」は、大阪市中央区の道修町に本社を置いていました。上田太郎の「小太郎漢方製薬(株)」も本社を置いていました。

今も道修町には、多くの製薬会社と並んでいます。なぜ、道修町には製薬会社が多いのでしょうか。江戸時代(寛永年間)、ここには薬問屋が開かれ、その後も多くの薬問屋が店を出し、享保7年(1722)には、124軒の製業者が江戸幕府から公認を受け、薬に値段を付け、全国に売りさばくことが認められました。

当時、薬種の原料である中国産の唐薬種や日本産の和薬種の品質を見分けるのが非常に難しかったため、専門的な知識をもつ業者の検査が必要とされていました。このため、日本で販売される薬は、いったん、ここ道修町に集められ、品質と重さを保証されて全国に流通していきました。このような歴史をたどってきたため、道修町には、現在も多くの製薬会社が本社



や事業所を構えています。また、薬の神様(葉祖神)として信仰が篤い少彦名神社があります。医薬にゆかりのある祭神を祀っていることから、医薬関係者の信仰を集め、病氣平癒や医薬関係の資格試験の合格を願う参詣者も多いようです。
 この神社の境内には、「くすりの道修町資料館」があります。江戸時代以降の葉問屋の史料・資料が収蔵され、その一部が展示されています。
 推古天皇19年(611)、日本最初の薬師(くすり)から生まれた「薬の旅」は、道修町が終着となりました。道修町通りを散策し、有名製薬会社の本社を見上げ、少彦名神社や「くすりの道修町資料館」で薬の歴史を再発見してみてください。



新型コロナウイルスで深刻になる DV、児童虐待、家庭内暴力

家庭は誰にとっても常に安全で居心地の良い場所とは限らないようです。密室になりやすい家庭にいて、かえって危険にさらされる人が存在しています。

新型コロナウイルスの感染拡大により、学校の休校、外出の自粛、在宅勤務の推奨で、家にいる時間が長くなった人も多く、DVや児童虐待、家庭内暴力の増加や悪化が懸念されています。

北仲千里・広島大准教授(社会学)によると「非常時は多くの人にストレスがかかり、それが弱い方に向かってしまふ。一番の原因は、経済的に不安定になったことによるストレスではないか。さらに、仕事がなくったり在宅勤務になったりして加害者が家にいることで、被害者が相談できなくなってしまうという状況も出てきている」といいます。

やり場をなくした不安と怒りの高まりが家族内部の不適切な関係に行き着いてしまうことは避けられないのでしょうか。

北仲准教授は「こんな状況だからと耐えている被害者が多いのではないかと。さまざまな支援機関が工夫しながら声を掛け止めているので、我慢しないで助けを求めてほしい」と呼び掛けています。

こんなときこそ、相談することが大切です。通常通りの対応は難しく、相談場所も減っているという現実があります。相談員の安全は守りつつ相談は続けようと公的機関も民間団体もがんばっています。100%閉じているとは思わないで支援につなげてください。

人を支援するあらゆる領域の営みも、未曾有の試練にさらされています。

